

Days of Cherry Blossom Trees

桜のある日々

春になると全国各地で咲き誇る桜には、実際に鑑賞するだけでなく、様々な楽しみ方があります。今回の展示では、六つのテーマから日々を彩る桜の美術品をご紹介します。

飲む



赤唐焼桜樹画茶碗

食べる



有職桜花蒔絵菓子器 (後期展示)

暮らす

桜花縫取大奥打掛 (3月19日~4月11日展示)

描く



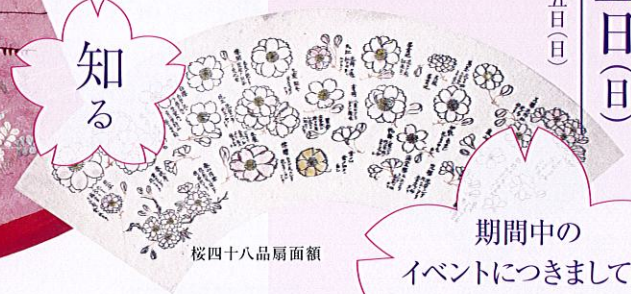
桜品扇子 自画賛 五代桜戸玉桜 (前期展示)

詠む



「是は是はとばかり 花のよしの山」句扇子 安原真室 (前期展示)

知る



桜四十八品扇面額

後期：四月二十日(水)―六月五日(日)

前期：三月十九日(土)―四月十七日(日)

令和四年 三月十九日(土)―六月五日(日)

期間中のイベントにつきましてはホームページをご覧ください。

Exhibit descriptions are also available in English.

市民優待日

4/2(土)・4/3(日)、入館料 一般300円 中・小生 200円



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

明治の酒蔵 酒ミュージアム

公益財団法人 白鹿記念酒造博物館 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21 TEL(0798)-33-0008(代) FAX(0798)-32-2790

Hakushika Memorial Museum of Sake

入館料 一般500円 中・小生250円 (団体割引 20人以上2割引き)
記念館・酒蔵館共通
65歳以上の西宮市民は証明書呈示で半額、ココロカード呈示者は無料
開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 火曜日 [4月18日(月)は展示替えのため記念館展示室はご観覧いただけません]
[5月3日(火)は臨時開館いたします。5月6日(金)は閉館となります]
お問い合わせ 白鹿記念酒造博物館 電話：0798-33-0008 <https://sake-museum.jp/>
主催=西宮市/公益財団法人白鹿記念酒造博物館 協賛=西宮観光協会 後援=西宮市教育委員会、歴史街道推進協議会

日本遺産 JAPAN HERITAGE

いたみもろはく きいっぼん
『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』が、令和2年度日本遺産に認定されました。

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引
有効期間：令和4年3月19日(土)~6月5日(日)

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引
有効期間：令和4年3月19日(土)~6月5日(日)

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引
有効期間：令和4年3月19日(土)~6月5日(日)

桜のある日々

会期:令和4年3月19日(土)~6月5日(日)

前期展示期間:3月19日(土)~4月17日(日)・後期展示期間:4月20日(水)~6月5日(日)

休館日:火曜日 ※4月18日(月)は一部展示入替のため展示室はご観覧頂けません。展示入替の詳細についてはお問い合わせください。

※5月3日(火・祝)は臨時開館いたします。5月6日(金)は休館いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

笹部 新太郎 (ささべ・しんたろう) 明治20年~昭和53年 (1887~1978)

大阪市北区堂島生れ。大阪府立第一中学(現 北野高校)、第七高等学校(鹿児島)、東京帝国大学法科大学政治学科を卒業。大学時代に桜への関心を持ち研究を始める。卒業後は、宝塚市武田尾に桜の演習林「亦楽山荘」や京都市向日町(現京都府向日市)に圃場を設け、生涯を通して実際に桜の研究・保護に携わった。昭和26年(1951)大阪市民文化賞を、同42年(1967)西宮市民文化賞を受賞した。

大阪造幣局「通り抜け」の桜の管理指導、滋賀県近江舞子の「干本桜」の植樹(現存せず)、岐阜県御母衣ダムの「荘川桜」移植指導など、全国的に桜の保護育成の活動を行った。また、一貫して桜と向き合った生き方をモデルに、作家水上勉が「櫻守」を著した。

生前に蒐集したコレクションは、美術工芸品、書画、花譜、名勝の古文献、絵図等から、実際に演習林などで使用していた接木用の切出刀、鋸に至るまで多種多様で、研究書は4,000冊を数え、100冊を超える覚書も残されている。著書に自伝「櫻男行状」がある。

笹部新太郎氏は桜にまつわる美術品や文献を収集することを通して見識を深めるとともに、自身が桜に興味を持っていることが知れ渡り、情報が舞い込んでくることを期待していました。そうして集められた品々は掛軸・錦絵・陶磁器・漆器・扇子・短冊など多岐に及んでおり、全国でも有数の桜にまつわるコレクションを形成しています。今回の展示では、日常の様々な場面における桜の楽しみ方を6つのテーマからご紹介していきます。

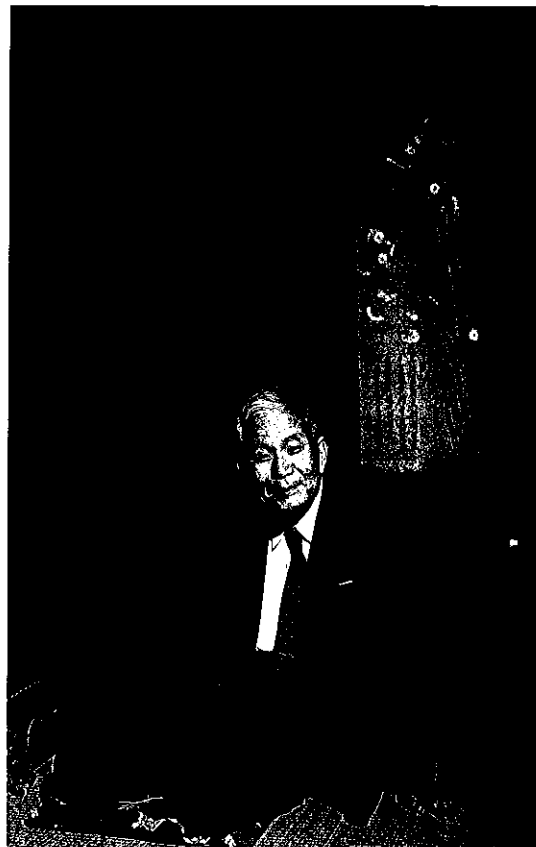
【飲む】「食べる」【暮らす】では、日々の彩りとして器物や日用品に表現された桜をお楽しみいただけます。【描く】では、様々な画家によって描かれた桜画をご紹介します。画家ごとの桜の表現の違いをご堪能ください。【詠む】では、桜や春を題材にして詠まれた俳句・短歌・川柳だけでなく、笹部氏に贈られた作品も展示いたします。【知る】では、桜の品種や名前の由来などの知って楽しい豆知識のほか、

笹部氏の活動についてもご紹介いたします。

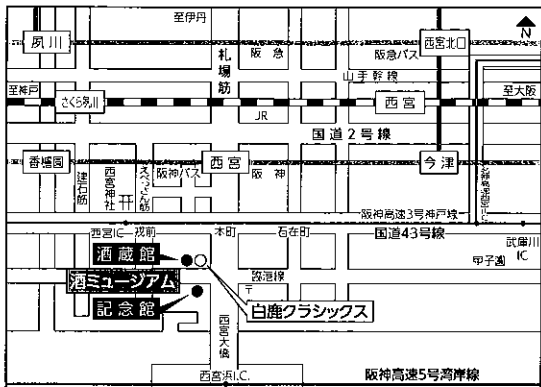
穏やかな春の日差しの中で咲き誇る桜は私たちの目を楽しませてくれますが、美術品の中に表現された桜にもそれに匹敵する美しさがあります。日々の様々な場面で私たちを魅了してくれる作品たちを、ぜひご堪能ください。



明珍「桜手取釜」



お気に入りの掛軸の前でくつろぐ笹部氏



交通案内 当館へは阪神電車西宮駅が最寄り駅となります。

● 阪神西宮駅より徒歩の場合、札場筋を南へ15分

● 阪神西宮駅よりバスをご利用の場合、

《阪神バス時刻表》 マリナパーク方面行 阪神西宮南口→交通公園前

時間	平日・土曜・休日
10時~15時	2分/14分/26分/38分/50分

《運賃/大人220円》
ICカードをご利用いただけます。
交通公園前停留所下車南西へ徒歩1分

● 阪神西宮駅よりタクシーご利用の場合、約5分